

2022年6月13日

日本貿易振興機構(ジェトロ) アジア経済研究所

第43回「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」(2022年度) 表彰作品決定について

ジェトロ・アジア経済研究所(IDE-JETRO、所長:深尾京司)は、2020年10月~2021年9月の1年間に
公開された図書、論文など発展途上国の経済、社会などの諸問題を調査、分析した著作57点の中から次の二
つを「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」表彰作品として決定しました。

下條尚志 著 『国家の「余白」 メコンデルタ 生き残りの社会史』(京都大学学術出版会)

堀内義隆 著 『緑の工業化 台湾経済の歴史的起源』(名古屋大学出版会)

「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学およびその周辺分野の調査研究水
準の向上と研究奨励に資することを目的として、昭和55(1980)年度に創設し、今回で第43回目の表彰です。
57点は大学や出版社等から推薦されたもので、倉沢愛子 慶應義塾大学名誉教授を委員長とする選考委員会
が選考し、ジェトロ・アジア経済研究所が決定しました。

なお、表彰式を7月1日(金)14:00よりハイブリッド形式にて開催し、受賞者による講演を行います。

資料:第43回「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」(2022年度)

本件に関する問い合わせ先

日本貿易振興機構(ジェトロ) アジア経済研究所
研究推進部 研究イベント課(担当:佐藤)

E-mail: info@ide.go.jp

Tel: 043-299-9536 FAX: 043-299-9726

第 43 回「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」(2022 年度)

表彰作品

下條尚志 著 『国家の「余白」 メコンデルタ 生き残りの社会史』(京都大学学術出版会)
豊かな自然と世界有数の農業生産を誇り、大都市からも近く、いまはクルーズ観光が人気のメコンデルタ。しかしここは 20 世紀最大の動乱の舞台でもある。いくつもの国家が、統計・分類、文書化、マッピング、暴力を用いてこの地域の人々を捕捉しようとした。しかし、そうすればするほど動乱が拡大する。民族的混淆、流動する人・モノ・情報、闇市や徴兵忌避の寺院等々、デルタ社会の生態歴史文化的特徴のなか「国家の介入しにくい空間」が如何に作られるのか、そのメカニズムを詳細な民族誌で解き明かす。

堀内義隆 著 『緑の工業化 台湾経済の歴史的起源』(名古屋大学出版会)
植民地下の台湾は、たんに帝国の食糧供給基地にとどまったのではなかった。見過ごされてきた工業化の契機を、豊かな農産物の加工・商品化と、それに伴う機械化・電動化に見出し、小零細企業が叢生する農村からの発展経路を実証、戦後台湾経済の原型をとらえた注目の成果。

推薦著作 単行書 57 点 (重複分等除く)

選考委員会

委員長	倉沢愛子	慶應義塾大学名誉教授
委員	上田元	一橋大学大学院社会学研究科教授
	大塚啓二郎	ジェトロ・アジア経済研究所新領域研究センター 上席主任調査研究員
	栗田禎子	千葉大学大学院人文科学研究院教授
	竹中千春	元・立教大学法学部教授
	深尾京司	ジェトロ・アジア経済研究所所長
	藤田幸一	青山学院大学国際政治経済学部教授

(以上 50 音順)

表彰式および受賞記念講演 2022 年 7 月 1 日 (金) 14:00~15:30

場所: ハイブリッド形式